

ふれあいWORKSHOP通信

第2回

利活用のプログラムとシーンを描く

基本方針・空間規模の検討／ゾーニング

1 目的の確認と前回の意見をおさらいしよう!

事務局より、ワークショップの目的の再確認と第1回の意見のおさらい、今回の作業の進め方について説明をしました。

【ワークショップの目的】

- ①公園のあるべき姿を検討
- ②公園づくりのレシピの作成
- ③相互理解と信頼関係の構築
⇒公園整備計画案の作成

2 班ごとに基本方針・ゾーニングを検討しよう!

続いて4つの班に分かれてのグループワーク。課題解決や思いの実現に向けた公園整備に対する**基本方針案、利活用、利用イメージ、ゾーニング案**を検討・作成、意見交換をしました。

3 公園のあるべき姿を全体で出し合おう!

各班毎に成果をまとめ、全体で発表を行いました。公園のあるべき姿をゾーニングに落とし込むことで、**共通の意見や意見が分かれる点**が明らかとなりました。次回はよいよ、具体的な計画案の検討していきます。

大型台風の接近で開催も危ぶまれましたが、当日は晴天。令和六年九月二日(月)、第二回「境南ふれあい広場公園ワークショップ」が、武蔵野プレイスで開催され、二十名の方の参加がありました。

境南ふれあい広場公園のあるべき姿を考えました



結果

公園のあるべき姿を方向づける条件について検討し、基本方針を整理しました。

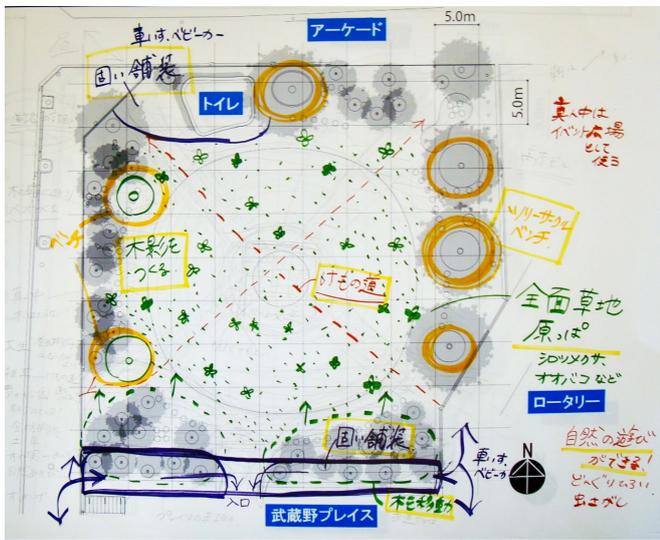
	1班	2班	3班	4班	
条件	①子どもが安全に遊べる広場	<ul style="list-style-type: none"> ・土や草のある広場で自然の遊びをする ・柔らかい舗装(土、草)にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・裸足になって歩き回れる場 ・築山のような起伏もある空間 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生があったエリアを遊び場として確保する ・何もなく開けた自由に遊べる空間 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館(プレイス)の前らしい広場 ・騒がしい、きつい匂いがするなどは良くない
	②イベントに対応できる広場	<ul style="list-style-type: none"> ・真ん中はイベント広場として使う ・踏圧に強く管理しやすいと考えるため、広場は草地にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントのために南東の出入口は車両通行可の幅員を確保 ・祭り用のやぐら支持部を他のイベントにも活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画中の西側道路を賑わいの場として活用する ・ステージを設け、賑わいを創出する 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生をすのこの様な足場で養生し、イベントはその上で行う ・芝の周囲にイベント使用もできる十分な通路スペースをとる
	③安全な動線	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイスやトイレ周りは、車椅子やベビーカーのため硬い舗装 ・プレイス入口前の樹木は前方に移動させ、通行しやすくする 	<ul style="list-style-type: none"> ・特大サインなどを新たに設け、自転車走行禁止の規制を強化 ・中央部と外周部の間に動線を誘導する箇所を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・全面舗装であれば、自由にどこを通過してもよい空間になる ・ショートカットせず広場周囲を通りたくするしきみをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内は自転車を通らせず、敷地外の道路を通るように誘導 ・可動式のベンチで通り抜けを制御、イベント時は撤去し広く使う
	④四季を感じる木陰のある空間	<ul style="list-style-type: none"> ・自然的で、けもの道まである面白味のある駅前広場 ・木陰を増やすため広場の周りに新たに木を植える 	<ul style="list-style-type: none"> ・草花多く植え周囲とは違う空間とする ・外周部にグリーンベルトをつくりたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・木陰の下で過せるよう外周部の樹下にベンチ ・周辺の豊かな緑によって四季を感じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・高木の高さを抑え芝への日照を確保
	⑤ゆっくりすごせる空間	<ul style="list-style-type: none"> ・ツリーサークルベンチを設置、集まって座れる場所とする ・プレイス前の樹木は少し北側に移動させ、木陰の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝のマウンドなど、地べたに座ったり寝転んだりできるような場所 ・暑さ対策でターフのような仮設的な屋根を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい素材(木材など)でできたベンチを配置する ・休憩やランチで利用できる座ってくつろぐスペースを増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり過ごせる空間とは芝生空間と考える ・樹木の間を活用して人が集えるスペースとする
基本方針	歩こう!遊ぼう! 緑の広場	子どもが安心・安全に過ごせる場所!“ニワ”	ベンチを増やして“いい場所” 芝生はなくても“にぎわい”空間	芝生を主役に!	

各班の基本方針とゾーニング案

1班

はらっぱ 歩こう！遊ぼう！緑の広場

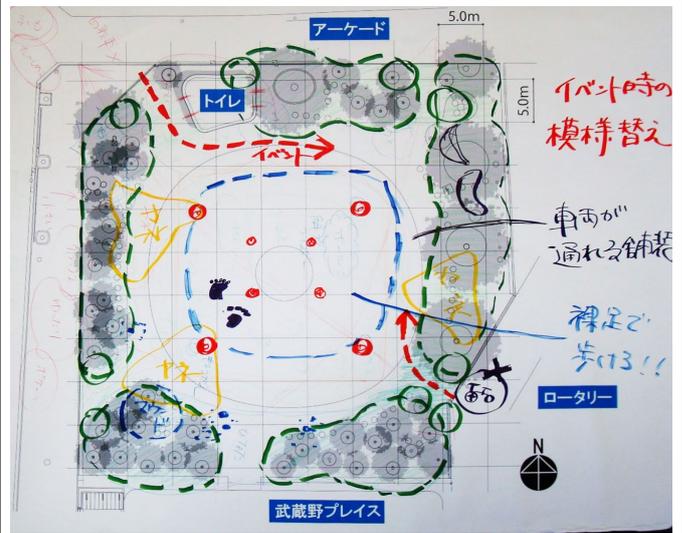
中央部は柔らか土や草で遊びやすく、外周部は硬い舗装で歩きやすく、樹木も移動しベンチを設け木陰を創出。



2班

子どもが安心・安全に過ごせる場所！“ニワ”

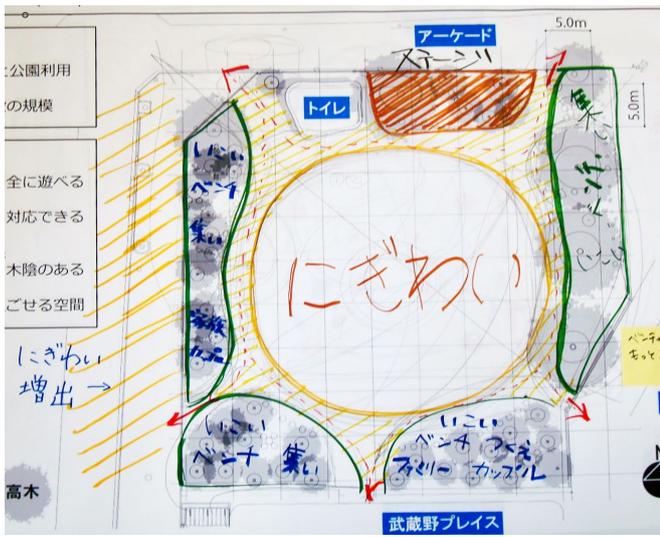
素足で遊べる広場や起伏のある芝生空間を創出、イベント用車両動線を確保しつつ、サインや動線誘導で自転車を排除。



3班

ベンチを増やして“いこいの場” 芝生はなくても“にぎわい”空間

中央は舗装の遊び場とイベントにも対応、外周部に木陰・ベンチ



4班

芝生を主役に！

日照確保、イベント時のすのこによる保護、幅広通路や樹木下スペースのイベント利用といった工夫で美しい芝生を



今後のスケジュール

令和6年度						7年度	8年度	
7/13(土)	9/2(月)	10月中	中間報告	12月中	1月下旬 ~2月上旬	成果報告	詳細設計	整備工事業実施
第1回	第2回	第3回		第4回	第5回			
現況・課題 公園への思い を共有	利活用のプロ グラムとシーン を描く	計画案としてま とめる		計画を形にして みよう	計画案を具体 化するには			

本ワークショップは、平成23年7月の供用開始から13年が経過した「境南ふれあい広場公園」について、そのあるべき姿を改めて検討し、駅前公共空間に良好な環境を創出することを目的とする、市民・利用者及び関係団体の参画による取り組みです。